

薩摩川内市

© K. P. V. B

1 鳥ノ巣山展望所



下甕島の北端に位置する展望所です。紺碧の海と、2020年に開通した鹿児島県で最長の橋である甕大橋や、向こう岸の中甕島を眺望できます。カノコユリやニシノハマカンゾウが一面に咲き誇り、7月から9月初めまで甘い香りを漂わせます。

住所：薩摩川内市鹿島町蘭牟田 電話番号：09969-5-1800

車椅子でも展望所下まで行け、甕大橋の絶景が楽しめます。



START!!

オススメ!

7分/2.3km

2 甕ミュージアム恐竜化石等準備室



下甕島にある、恐竜の標本や展示物がみられるミュージアムです。2008年、甕島列島に分布する白亜紀後期の地層から、鹿児島県で初めて恐竜化石が発見されました。ミュージアムでは、恐竜の全身骨格のほか、ケラトプス類の歯根の一部や、竜脚類の歯、ハドロサウルス類の大腿骨など貴重な化石が、恐竜の全身骨格とともに展示されています。

住所：薩摩川内市鹿島町蘭牟田 1457-10 電話番号：0996-32-5256

30分/20.1km

バリアフリートイレやエレベーターも完備しています。

オススメ!

3 瀬尾観音三滝(せびかんのんみたき)



下甕島の瀬尾川上流にある緑に囲まれた美しい滝です。高さ55mの滝は三段になって落ちていき、滝つばに観音像が祀られていることからこのように呼ばれています。滝の水は薬水とされ、昔は遠方から水を求めに来る人が絶えなかったそうです。癒しのパワースポットとして人気があり、遊歩道が整備されているため、

住所：薩摩川内市下甕町青瀬 電話番号：09969-5-1800

車椅子の方でも一番下の三の滝を見ることができます。



オススメ!

8分/5.7km

4 手打麓武家屋敷通り

手打集落のほぼ中央に旧武家屋敷の町並みがあります。住居のほとんどが改築されていますが、今も残る玉石積みの石垣や垣根など、静かなたたずまいの中に遠い昔を偲ばせてくれます。2019年、日本遺産「薩摩の武士が生きた町〜武家屋敷群「麓」を歩く〜」の構成資産として登録されました。

住所：薩摩川内市下甕町手打

鹿子ゆりのシーズンは路地植えのゆりが楽しめます。

オススメ!

GOAL!!

